

2018年6月1日改正様式（消防予第373号）

別記様式第24

非常電源（自家発電設備）（その3）

総 合 点 検								
接 地 抵 抗		種 種		Ω				
絶 縁 抵 抗				MΩ				
自家発電装置の接続部								
始 動 装 置	※ 始 動 用 蓄 電 池 設 備							
	始 動 用 空 気 圧 縮 設 備		ℓ					
	始 動 補 助 装 置							
保 護 装 置								
※※ 運 転 性 能	負 荷 運 転		①		kW		②	
	内 部 観 察 等							
切 替 性 能	運 転 切 替 性 能							
	※ 蓄 電 池 切 替 性 能							
	始 動 用 燃 料 切 替 性 能							
備 考	電気主任技術者 氏名及び番号 負荷運転又は内部観察等の最終実施年月（ 年 月）							
	<p>データ添付がない場合は 出力計算書に基づく全ての当該負荷で必要な時間連続 運転後の電流値を具体的に明記すること。</p>							
測 定 機 器	機 器 名	型 式	校 正 年 月 日	製 造 者 名	機 器 名	型 式	校 正 年 月 日	製 造 者 名

自家発電設備に係る点検結果報告書
受理時には次のような点に留意し、
負荷運転の欄の記入内容が適切である
ことを確認する。

① 運転状況の欄が「無負荷」等と
なっていないこと。

② 判定結果が空欄や「/（斜線）」
等となっていないこと。

①については発電機容量の30%
以上の負荷出力、または接続され
ているすべての当該負荷出力の合計。

- 備考
- 1 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
 - 2 種別・容量等などの内容欄は、該当するものについて記入すること。
 - 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
 - 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
 - 5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。
 - 6 票中※印のあるものは、非常電源（蓄電池設備）点検票を添付すること。
 - 7 票中※※印のあるものは、当該点検項目の最終実施年月を備考欄に記入し、別表第24第2項（6）に規定する運転性能の維持に係る予防的な保全策が講じられている場合は、当該保全策を講じていることを示す書類を添付すること。